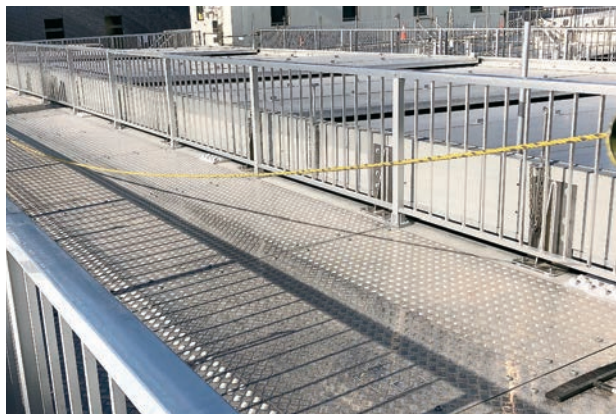




管理路歩廊

歩廊床版

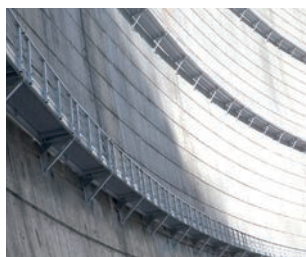
上／管理路門扉 下／歩廊内観



管理路歩廊



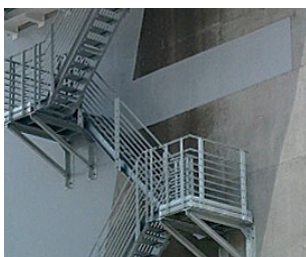
管理路階段



管理路歩廊



管理路歩廊／管理扉



点検路階段／後付け施工

＊アルミ合金製管理路歩廊は、アルミ合金製検査路「KERO®／ケーロ」を使用し安心安全に基づき設計された製品です。
アルミ合金製検査路「KERO®／ケーロ」は、(株)横河ブリッジと日軽エンジニアリング(株)の共同開発製品です。

アルミ合金製品の耐食性の実証

- 交通量が多い地域：葛西橋高欄／東京都
昭和38年設置→平成29年撮影（54年経過）



アルミ合金製品は、浄水場・下水処理場施設の覆蓋としても多数のご採用をいただいています。

- 塩害地域：追直漁港護岸高欄／北海道
平成21年設置→平成30年撮影（9年経過）



※満潮時に海水に浸かった環境

日軽エンジニアリング株式会社

□ 本 社 〒105-8681 東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル TEL 03-6810-7473

<https://sne.co.jp>

□ 東北支店 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウェル仙台ビル TEL.022-292-7011
□ 新潟支店 〒950-0965 新潟市中央区新光町17 日軽ビル TEL.025-283-6695
□ 静岡支店 〒420-0851 静岡市葵区黒金町59-7 ニッセイ静岡駅前ビル TEL.054-273-8851
□ 名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-26 ポーラビル TEL.052-209-6901
□ 北陸支店 〒920-0022 金沢市北安江1-3-24 金沢フロントビル TEL.076-222-3299

□ 大阪支店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-5-18 朝日生命道修町ビル TEL.06-6223-3561
□ 九州支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-8-10 九勸未広通りビル TEL.092-436-6910
□ 広島営業所 〒730-0051 広島市中区大手町3-1-9 広島鯉城通りビル TEL.082-545-1322
□ 沖縄営業所 〒900-0015 那覇市久茂地3-1-1 日本生命那覇ビル TEL.098-860-7231

- このパンフレットの記載内容は2024年6月現在のものです。
- 仕様は商品改良のため予告なく変更することがあります。また、色彩は印刷の特性上、実際の商品とは多少異なる場合がありますのでご了承ください。
- 商品の保証期間は、引渡し後2年間とします。
- 設計条件以上の荷重等起因して、製品の損傷や必要な性能を満足できなかった場合は、保証対象外とします。

K2.S1.2406.10.RS

浄水場・水道施設に取付け可能な軽量で耐食性の高い アルミ合金製 管理路歩廊・管理通路



日軽エンジニアリング株式会社

アルミ合金製 管理路歩廊・管理通路

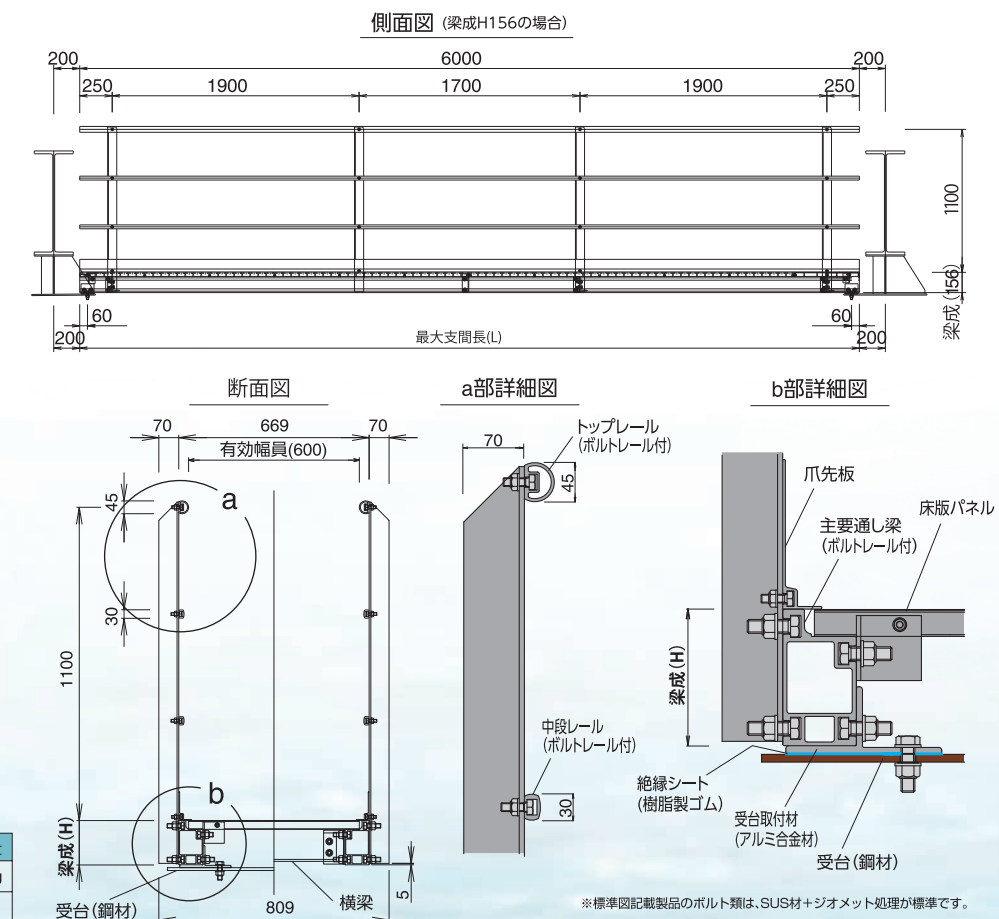
* アルミ合金製管理路歩廊は、アルミ合金製検査路「KERO®/ケーロ」を使用し安心安全に基づき設計された製品です。
アルミ合金製検査路「KERO®/ケーロ」は、(株)横河ブリッジと日軽エンジニアリング(株)の共同開発製品です。



アルミ押出型材 ボルトレール

アルミ押出型材によるボルト締結組立

アルミ合金製検査路「KERO®/ケーロ」*を使用し、床版、手摺、支柱、すべてをボルト締結による組立て施工が可能です。



※標準図記載製品のボルト類は、SUS材+ジオメット処理が標準です。

■ 既存施設の点検管理歩廊、インフラの長寿命化対策として

- ・軽量なアルミ製品は点検歩廊や通路を後付けで添架が可能な製品です。
- ・製品重量は鋼製の約 1/3 と軽量なため既存施設への荷重負荷を抑えます。

■ 塩素系薬品に強いアルミ合金材

- ・腐食に強く赤錆による製品剥離等がないため貯水槽への異物混入の恐れがありません。
- ・また陽極酸化複合被膜(アルマイト)は防錆対策を必要としない材質です。

■ 管理作業が安心して行える安全性の高い施設

- ・歩廊手すりには落下衝撃試験を行い十分な安全基準をクリア、安心して作業が行えます。
- ・また床面パネルは台車使用も可能な剛性の高い床面で作業性に優れた歩廊です。

■ アルミ押出成形材による容易な組立施工

- ・構成部材は、アルミ合金製検査路「KERO® / ケーロ」*を使用し、すべての部材はボルトで締結し現場で組み立てるため施工の手間が省けます。
- ・万が一、一部の手すりが破損した場合には破損箇所だけの部品交換が可能です。



管理通路としての強度と安全基準をクリア

■「道路橋検査路設置要領」H18に基づく手摺衝撃試験

以下の条件において落下事象を発生させた結果、手摺の破断は認められず、落下衝撃試験をクリアしました。

- ① 試験体重量:833.6N (85kg) ≒大人1人分
- ② 落下位置:H=1.7m ※製品床面の高さ1.7mの位置より落下
- ③ 安全帯装着:「労働安全衛生法 安全帯」規格準拠品を使用

[illegible]

様々な仕様にも対応いたします。

